

紙面の都合で講演の概要を紹介することになりましたことをお詫び、ご諒解をお願いします。

講師は序論として精神科
神経科へ進まれた理由や、
この道の研究を進められて
来られた経緯を御自分の履
歴と共に語られ、それは即
ち精神病の学問の進歩の過
程であつたとお聞きするこ
とができた。

取扱われてゐる精神病患者の多種多様であることや、その中でも一般にノイローゼといわれる精神分裂症が量から言つても日本全国で百二十万人、尚その数倍の人が自宅にゐるという百人に一人は分裂症といふ比率は世界中がそうであると共に日本も然りというには驚いた。

「分裂症を治さなければ、精神科医の資格がない」という決心で取組んでおられる

科学賞受賞	昭和四四年 脳代謝研究施設成る。
第一 病態性科学部門	病気の前後の状態の生化学的研究
第一 機能性科学部門	遺伝、環境が遺伝に及ぼす影響、遺伝因子が病気にまで発展する過
第三 発達神経科学(申請中)	

精 神

岡山大学医学部付属
脳代謝研究施設病態生化学部教授

高坂睦年（中31回）

程の研究。精神とは、本論に入つて、今日では、脳全体の機能と考へられ、本能が外へ向つて動く姿、或いは内に向つて行く姿をひつくるめたものといえる。精神をその部分として知・情・意から成るゝとされて来たが、その本能を包むものが外に表われる姿の中で、「情」となつて見えたり、或いは「意志」となり、思考という形をとつてくる。これが人間の生れつきの姿性質であり、この本能の中には、自己保存の本能、よりよい生活を求めるとか、

集団生活への本能、があり
こういう生れつきの特質が
外に形をもって出て来る。
又内側に向つて動く。その
姿を吾々は精神と呼ぶ。

だから一口に精神といつ
ても、どの部分に一体、障
害があるのかとか、ある規
準から、どういうのがより
よい精神なのか、どういう
のが損われた精神なのかと
いうことが問題になる。

良い精神とは、よく考え
情性が豊かで、意志(行動)
が社会的に正しくて、積極
的のことです。

吾々は本能を満足させる
ためには、吾々の個体が平
和で、豊かで、自己保存を
するのに良い条件の方向に
動いて行く。動いて行こう

ら攻撃を受ける。ルールが多くなればなる程従わねばならぬ要素が多くなり、そこに不自由感が増す。或は圧迫感、緊張感を生ずる。こういう個体が増加するといち速く目的に達する為には素早い行動が要求されそのため直感が要求される。これが行動である。つまり環境が個体の意志、志向に強く影響を与える。この、うな仕組の中で一体、我の環境がどのように変つてきているか反省してみると要がある。

二の丸以前に同志社のことは、大先輩の前織衛氏（中四回）の御教で初めて知ることができ大変有難かつた。

長姫高校の用務員室（飯中小使室）の横手の井の、道をへだてて真向いわれ等の同志社であつた社屋は南北に長い二階建東と南が開いており、東の前庭は幅三七四メートルもあつたろうか。

飯中 在学中、前後二回社生としての経験をもつ

心社の記 第十二回 木
内社生の定員は十六名
赤穂・飯島・七久保・南
等上伊那の出身者と、奉
下条等郡内僻遠の地の出
社が優先的に入社して、
員があれば誰でも入らむ
原君によると、同君が内
生であつた明治四十二年
には、社費月額金三円
(食費、炊事の小母さん
給料を含む)ということ
一日十銭の生活費であつ
が、一年後同君が再入社
た時は月五円になつてい

下 祐 次

候、大平一ノ瀬にキャンプ
一夜を明かしての帰路、大
休あたりの柿の樹林で降る
よう鳴く時鳥を聞いた。
二年の夏休み、恵那登山
の行に加わった。出発の朝
日栄万之助氏（通称日栄万
郷土史家、個人娯楽雑誌経
営）という一風変わった名物
男が羽場坂上まで見送つて
くれ、坂の上で一揚の壮行
演説をぶつたものだが、中
学生の集団登山が町のニュ
ースになる、そんな時代で
あつた。

同志社の記

四

1

祐 次

八

個体のつき合う機会が多い条件の中にいるとなれば、セッカチにならざるを得ない。その行動たるや素速くしなければならない。衝動的行為に従わざるを得ない。しかし、例えば東南アジアの住民は現在でも大変ゆつたりしている。こうした人間制だ、三交代だといつてもビンとこない。そういう環境に育った人々を日本人の感覚で働くかすということはドダイ無理である。

このような外的条件のほかに、個体の中に変革をもつて来ている。農業とか、

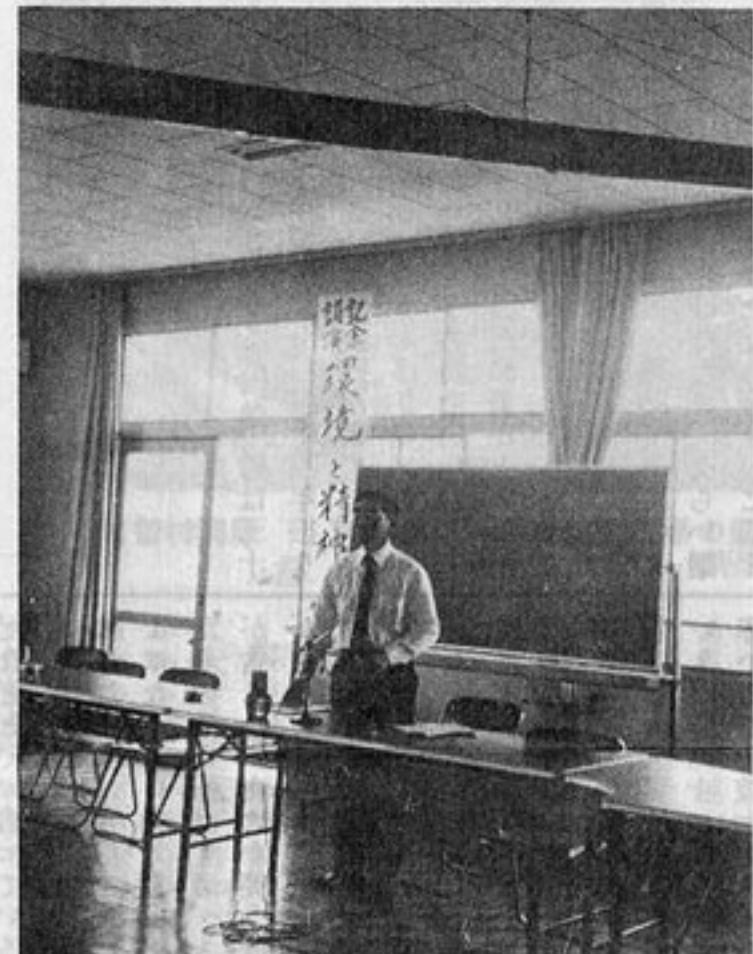
カドミュームとかキノホールなど的问题がそれで、永い間には神経に影響するで

ある。

このようなスペースを奪う。吾々自身の個体が年中リズムなしの食事で、リズムなしの肉体となり、肉体自身が変ってしまい、平盤なものにしか反応しない頭になつて來た。

そのような環境の変化、自己の変化そのものが相互に影響しあつて今日の社会を造つており、近代科学が吾々に何を与えたのだろうかと考えてみると。速く走る、高く飛ぶこと、これは競技の上でのことだが、本能からいえば、本来より豊かな暮らし、より高いレベルにもつて行こう、よりよき

が低下する。



環境と定期総会記念講演

より高く、より豊かにとは逆行する結果となる。

科学の進歩は吾々に好きな時に好きなものを得られるようになつた。

又個人の主張が増大し、個人主義を求めるようになつた。しかし果たして個人の人格的価値が高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

吾々はここに、環境としての自然を見直さねばならないと思う。人間は環境を

変えることができるもので

ホモ・サピエンス（思考する生物）といわれる所以である。が、人間は自然の中に生れたもので、自然の中

に生きている自然の一部と

考えねばならぬ。言葉をかえて言えば、人間は自然をも含めた世界協同体の一因

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワドイ場面が出て来て、明治の中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワドイ場面が出て来て、明治の中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワドイ場面が出て来て、明治の中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワドイ場面が出て来て、明治の中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワドイ場面が出て来て、明治の中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

は無関係であったことを今こそ知らされる。人間は文

化の中で甘んずることがで

きなくて文化の進歩を得る。

しかし生活の便利だけが文

化の進歩、人間の進歩であ

り、人間の質

が低下する。

等の察歌へ「高の察歌ばかりだつたように思う」、伊

那節、磯節、「浅間山から鬼がケツ出して」「富士の山からノーエ」等々の俗謡

興極まれば「羅漢さんが揃

つたで廻そじやないか、ヨ

イササノヨヤサ」と羅漢廻

しで幕を閉じる。

中原桃仙氏（中五回、中

原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワド

イ場面が出て来て、明治の

中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中

原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワド

イ場面が出て来て、明治の

中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中

原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワド

イ場面が出て来て、明治の

中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中

原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワド

イ場面が出て来て、明治の

中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中

原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワド

イ場面が出て来て、明治の

中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

子孫を残すことであつた。この本能の自己保存を主張するとなれば、これは大変に恐慌を起こす。

仮に自己保

存の一つの子孫を増やすことを考へても、個体が無数に増えればスペ

ースは次第になくなる。又、

中原桃仙氏（中五回、中

原謹司氏の御親父）の講談を聴いたことがある。主題はアイヌのメノコの内地人

と恋であつたが、キワド

イ場面が出て来て、明治の

中学坊主どもはくすぐつた

高まつたのであろうか。

文化とか科學とかが発達

した今にして、古代の人間の手で作られた文化に無上の価値を認めるということは何を意味しているであろうか。人間の価値は文化と

中学第一十九回同級会の記

上 島 彦 男

我々が飯田中学へ入学したのは大正十四年の四月でまだ三重様の脇の校舎であったが、その年の十二月高松へ移転した。大雪の日で何回となく行ったり来たりして運んだものだ。机など雪の上をつるつる滑らせて運んだのが、はつきりと浮んで来る。それから五年、昭和五年三月に卒業し、早四十四年の歳月が流れた。

過し世を静かに思え、百年もきのうのごとし、藤村な

らでも感あり。今年はお練りの年でもあつたので、故郷を離れている者も在郷の連中と合同でやろうということになり、三月三十一日に木下春雄先生をお招きして追手町の舞鶴で開いた。

先生は八十四才になられる。そうだが、末だ矍鑠としておられ、御祝い申し上げる。集まつた連中は地元で二十四名、遠隔の地から十三名、計三十七名であつた。連中の内には時々会つてい

る者もいるが、中には三十一年振りとか、四十四年振りといったような者もあり、誰だかさっぱり見当のつかぬ者も、名前を語り合つて初めて何だお前かといつた

ような具合、そうした者でも話しているうちに、昔の面影が段々甦つて来て、えらい禿げたなあ、えらい鐵

面影が段々甦つて来て、えらい禿げたなあ、えらい鐵

面影が段々蘇つて来て、えらい禿げたなあ、えらい鐵

が古くなつたのか笑う度に、もいた。御神酒が回り出すにつれて、口角泡を飛ばすた者の淳を飛ばす者、入歯

でなく、口角入歯に挿つた者ばかりであった。尤もこの頃の若者は早く老けたいのか六十どころか、二十代でも赤いものを着るが。

四十年経てば、人それぞれの道に励み、皆一角の仕事を持つて己の道を全うしている。市長・村長・医師・建築士会長・何々社長・専務・館長等々、元校

長にいたつては数えきれない程いる。だが一堂に会せばこれ皆、昔の友達会や

長にいたつては数えきれない程いる。だが一堂に会せばこれ皆、昔の友達会や

長にいたつては数えきれない程いる。だが一堂に会せばこれ皆、昔の友達会や

長にいたつては数えきれない程いる。だが一堂に会せばこれ皆、昔の友達会や

長にいたつては数えきれない程いる。だが一堂に会せばこれ皆、昔の友達会や

長にいたつては数えきれない程いる。だが一堂に会せばこれ皆、昔の友達会や

長にいたつては数えきれない程いる。だが一堂に会せばこれ皆、昔の友達会や

支部便り

松川支部

九月一日松川町福祉センターで午後二時正確に開かれる。学校から教頭・神戸先生(上田出身)本会から中島賢二郎会長(中17)と事務局の惣谷(中24)が出席。

新会長平田一義氏(中24)の司会で新しい規約のことや運営上の諸問題が議せられ三時過ぎから宴会に移る。出席者二十五名を眺めると、

(熊谷利作記)

関西支部連合会総会が、九月十六日、神戸市舞子町舞子ビラに於いて開催され

飯田市役所

支部總会

が、九月六日

(金) 大宮温

泉で開催され

た。職場支部

としては最も

大世帯の一五名、統制が

しっかりと

いるから、維持会費も納入

もれがなく、

それだけに意

気盛んである。

暁峯会

る。四、五十名の出席予定と聞くが、関西の特長は夫人や子供さん同伴があるか

それにつけても、東京と同じく会員の異動がはげしい

から、当番の神戸支部の幹事さんたちの御苦労がしのばれる。

(九月十三日熊谷記)

恒例の八月、定期支部総会が開かれた。

参考者二十名、盛大で

会長には三石栄氏以下役員全員留任。

事務局の熊谷さんも出席

された。活動について、おほ

ど本会は、旧飯田中学、飯田高

田中学、飯田高松高校、飯田高

校卒業生と地区外在住の暁峯会OB会員で本会の趣旨に賛同する者。

本会は下久堅地区在住の旧飯田中学、飯田高松高校、飯田高

校卒業生と地区外在住の暁峯会OB会員で本会の趣旨に賛同する者。

本会は久堅地区内に在籍する小学校教職員及び公務員、団体職員等のうち、本会の趣旨に賛同する者。

本会は通常毎年八月定期総会を開催する又必要に応じ臨時

実施する。

本規約は昭和四十九年八月十日より

第六条 会員は会費として年額五〇円を事務局へ収める。

暁峯会々歌



下伊那の考古学現況

中二十二回 大沢和夫

故郷を遠く離れている同窓会の会員各位に郷土の状況をお知らせすることを目指して伊那谷の考古学研究のありさまを記しました。

○ 調査員として活動してくれた。そのうちお知らせいたしたいことを述べる。

中央高速自動車道（中央道）が神坂峠を八・五キロという長い隧道で貫いて本県に入り伊那谷を縦貫して諏訪より山梨県へと進んでおり、来年の九月には中津川市より駒ヶ根市まで全通することになっている。そ

の道路敷の埋蔵文化財を緊急に発掘調査することになり、昭和四十四年より発掘がはじまった。私が年長の故をもって長野県教委よりその調査団長に任せられた

が、実際は県の指導主事である今村善興（飯中四六回卒）・神村（旧姓松島）透（飯高四回）・宮沢恒之（飯高五回）・岡田（旧姓小池）正彦（飯高一二回）等の諸君が現地での発掘の指導にあたり、新しい飯田高校の卒業生である鳴海本昭（一七回）・酒井幸則（一二回）・市沢英利（一二回）・宮下典彦（一二回）・小平和夫（二四回）などの諸君は



阿智村園原 恵那山トンネル斜坑広場の発掘
(昭和48年秋)

に長いのでその途中に換気用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインター・チェックが設けられるがその近くのトンネルはあまり長いのでその途中に換気用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインター・チェック

が設けられるがその近く

のトンネルはあまり

長いのでその途中に換気

用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインター・チェック

が設けられるがその近く

のトンネルはあまり

長いのでその途中に換気

用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインター・チェック

が設けられるがその近く

のトンネルはあまり

長いのでその途中に換気

用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインナー・チェック

が設けられるがその近く

のトンネルはあまり

長いのでその途中に換気

用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインナー・チェック

が設けられるがその近く

のトンネルはあまり

長いのでその途中に換気

用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインナー・チェック

が設けられるがその近く

のトンネルはあまり

長いのでその途中に換気

用の坑をあけなければならぬことになり、阿智村の園原神社の下100mの所にその口があくことになった。その斜坑の口にあたる地点を発掘調査して古墳時

代より奈良・平安・鎌倉・

室町の各時代にわたる土器

・陶器・鉄器・祭祀用品・

硯・古錢・その他を多くは

破片であつたが大量を掘り

出してこの神坂峠が古代東

山道の通過地であったこと

を確認した。「信濃國」に

ある「尋ねまほしき園原」

を新しい見地より訪問されることを要望しておく。

飯田市山本の小学校のす

ぐ南の石子原よりは、赤土

の中より旧石器が発掘されたり。今より三万年前のもので旧石器としては長野県最古のものである。

飯田市伊賀良の中学校東に中央道のインナー・チェック

が設けられるがその近く

のトンネルはあまり

ル通信

中31回

岡島富男



原始林の開拓は、人煙稀な大密林中の作業で、道具一つ修繕するにも、不足の物資補給にも都市まで二千三百キロの行程を往復しなければならず、作業人員も不足がちで、募集にも困難を極めています。このようない遠隔地の開拓事業での飛行機が必要で、今我社には、八人乗一台、六人乗二台の三台が、彼方の山、此方の林に翔んで開拓の進捗を助けています。アマゾンやマットグロン州に土地を持つ大地主は皆飛行場を造り物資も飛行機で運びます。古諺に「志ある者は必ず達す」とあるが、いかかは志を果すことができました。小生八十才頃には理

由羅社長と望月専務が帰日して全農の重役数人を伴つて視察に来るようになっていましたが、まだ実現はしていません。実は昨年から口が掛かっていたが、日本人達は慎重過ぎるのか、行動力が鈍いのか腰が重いようです。そしていざ踏み切った頃には地価は二十倍三十倍にも跳ね上っている。当地の地価の値上がりは物凄く、アマゾン地方で交通の便（陸路・舟運）がよく肥沃な處は年間二七三〇〇%の騰貴はザラです。

先年吉川日朋君に便りし時にも触れたが、工業進出もよいか、日立としては日本何千分の一にしか当らぬブラジルの安い土地を出来るだけ沢山、今の中に買つて牧場経営にも乗り出したらどうかといった。社是にもない事で難かしいの

で、今日では数十倍の開きが出ている。儲けることにはなりふり構わぬ日本人や日本人

想の農牧場が出来上ることを確信しています。

最近日本の全農が、当地の現地会社イハラブランズ農業会社を通じて、我社の

購入して牧場造営に乗り出し、将来不足がちな牛肉をベルーのリーマ市経由で日本へ輸送する計画の話を持ち込まれています。現地の

商社ではあるが、当地の事情不案内の為か、先祖以来手掛けぬ牧畜業の為か、或は規模や方法に手馴れぬ為か、農牧業となると皆戸惑

い二の足をふむようです。然し帝人は既に先鞭をつけ、千載一遇のチャンスと

肉不足の今日、日本大企業が有余たドルにもの言

い

- ① アマゾン流域約三十億坪、全額で九十億円。
- ② 綿花、コーヒーの工場敷地五万坪、五億円。
- ③ ナンバウロ州の農園、

旧暦八日から二十三日まで約二週間、社用で北米、南米、アルゼンチンの南北アメリカを息つく暇もない飛脚旅行をしてきた。この間、十五・十六日の土・日の休みを利用して級友岡島富美夫君の自家用機で約三十キロを飛翔し、ブラジル（面積は日本の二十四倍、人口一億）の一部を空から見聞、さらに綿花、コーヒー工場で一泊、大いに歓待を受けたが、この目で岡島君の大事業を視察することができたのは喜びであった。これはその報告記。

五千五百万坪、五十億円。合わせて一四五億円。

この数字を聞いて、岡島がホラを吹いていたかどうか

吉川、よく見て帰つてくれ

（中略）

苦労の連続を語る

岡島君にさそわれ、南国情緒豊かな音楽の流れるホテルの酒場で、上記の大地主になるまでの血のにじむような苦労談を聞いた。これは彼の「ブラジル便り」であるが、彼の口から出ると胸にジーンとくるものがある。彼は日本を出る時、當時のカネでク金三百円を懷中にブラジルに渡つた。

草刈り、菓子屋の番頭、日本学校の教師、バー開業、農園経営の失敗等々で、精が照りつける。僕はスポーツシャツにゴルフズボンの装いでホテルのフロントで待つと、岡島夫妻は昨日と同様、腕を組み、迎えの大

型車から出て来た。三人は車に乗り込み、太陽の強烈

アル訪問記

吉川日朋

中三十一回

に照りつける街を横切って郊外へ向い、走ること一時間、飛行場とは名ばかりの広場に六人乗双発自家用機が待っていた。国際線のジェット機に乗つて来た僕に、遙か彼方に白く光つて見える帶状がバラナ川で、サンパウロ州からアルゼンチン国境へと悠々南下しており、川幅は狭い処で二キロ、広い処は四キロもあるという。

南国の夏（ブラジルは日本の七月の陽気）の夜は、時間の過ぎるのが速い。話題があるのに、夫妻は市内

のマンションに引き揚げた。渡す限りの大平原——それはコーヒー園、綿花畑、牧場、そして植林地帯と続く

が岡島君の説明も上の空、はコーヒー園、綿花畑、牧場、それに俺の綿畑があるから一寸

見張るばかり。時速約四〇キロ十五分おきに街が見

える。と、必ず家並みの真

中に「白い高い建物」がある。

「あれはチャーチだ」

と岡島君が大声で教えてくれる。一時間程飛んだので

長年の苦労の結晶だ。大平

あり、吉川部長（吉川日朋氏）が十二月中旬に日立ラインブラジル店の監査に来るとのこと、再会を楽しみにしています。小生自慢の

わせ、新しい分野の牧場経営に取組むのは素晴らしいこととで千載一遇のチャンスとなること、再会を楽しみにしています。小生自慢の

としています。

続

ブラジ



々続け、余剰金を向ける方法で、一人の持株も資本金の二十%を越えず、五年間は転売又は勝手に引出さない規約です。

私も還暦、事業の鬼と言わねながらましたが、それは単に一身一社の為であり、大衆庶民の為には程遠く、今後は庶民の利益の為に機関車の役で向こう十年、できれば二十年、社会の為に働きたい。そして最終的には会員五千名、資本金二億ドルの畜産会社に発展させ、日本、東南ア、西欧諸国にもソジャール(ジャーレス農牧会社)の商標で牛肉を輸出したいと考えています。勿論我社コブラールの事業も植民地造成も併行して発展させていきます。

人は各々様々な生き方をし、環境によって生活態度も違います。然し自分に忠実で、人に尽す心の姿勢に変わらぬ処はないと思います。生き方としてどういう道を選ぶか、この歳に至つて、つくづく思い廻らすようになります。老後に悔を残さぬ為にも人間らしい生き方をと自戒しています。過去を憶へば余りに惨澹たる生活であります故、一切忘却の彼方に描くことにしています。皆様によろしく。

(一〇月二十五日)

ジャーレス市内にて

××

原の一画が整然と見える。

広さは見当もつかない。

かくて約一時間半の飛行を終え、また名ばかりの飛行場に着陸。周囲は赤に近い茶褐色、これがブラジルの土壤かと改めて見る。

飛行場には岡島君の長男をはじめ、日本人が迎えに来ていた。一同は車を連ねて赤土の道を、機上で見た

岡島君の工場、事務所(三階建・四百坪)に着く。

そこで出迎えてくれたコロニ

交換室、タイプ室、事務室、社長室等を見て三階の寝室付応接間に案内される。こ

れで日本人会長の顔も見え、

翌十六日は朝早く、奥さん心尽しの日本食をいただき、岡島夫妻と機上の人とな

り、昨日見たバラナ川に沿って一路南下。今日、ブラジル大統領列席の下に竣工式を挙げる予定のダムの

水割で乾杯してから、乞われるように「日本の近況」を説明したが、生きしい内地の事情を熱心に傾聴してくれた。

やがて昼食の用意ができると、案内されたのは庭に

ブルが見える一階の食堂で、ブルには岡島君の孫がはしゃぎ泳いでいた。テ

君はブラジルの岡島、い

又、最近の日本の若者のこと、ふれ、母國が重大な危機に直面しているのに、若者は何をボヤボヤしているのかと、一世らしい慨嘆の声を聞いた。彼等は機会あ

る毎に日本の政治や経済を勉強しており、日本の健全な発展を望んでいた。

別れの涙の握手

日立の営業所長も加わり、車で市内を見物したあと、岡島君の会社に立ち寄った。

翌十六日は朝早く、奥さん心尽しの日本食をいただき、岡島夫妻と機上の人とな

り、昨日見たバラナ川に沿って一路南下。今日、ブラジル大統領列席の下に竣工式を挙げる予定のダムの

水割で乾杯してから、乞われるように「日本の近況」を説明したが、生きしい内地の事情を熱心に傾聴してくれた。

岡島君は「アマゾンの土地を開拓するまでは、まだ頑張る」と力をこめて語る。この意気なら、岡島君はブラジルの岡島、いや

岡島君の会社には国際事業部もあり、昨日のバイオット君がタイプを叩いていたのは、ほほえました。

三日間に亘って岡島君のブラジルに於ける活躍ぶりをとくとこの目で見、この

君はブラジルの岡島、いや

日本にまで名をとどろかず

た。その岡島君に、同席の日本人会長が一杯機嫌で言つたことは、岡島君の粒々

は大胆だ。又ねばり強く信念を持ったいわゆる「根性の男」だ。との印象を受けた。

岡島君は「アマゾンの土地を開拓するまでは、まだ頑張る」と力をこめて語る。この意気なら、岡島君はブラジルの岡島、いや

日本にまで名をとどろかず

た。岡島君の会社に立ち寄つた。我が社の営業所長の話だと

東京でいえば九ビル街に相

当するビジネス街だといふ。岡島君の会社には国際事業部もあり、昨日のバイオット君がタイプを叩いていたのは、ほほえました。

岡島君は「アマゾンの土地を開拓するまでは、まだ頑張る」と力をこめて語る。この意気なら、岡島君はブラジルの岡島、いや

岡島君の会社には国際事業部もあり、昨日のバイオット君がタイプを叩いていたのは、ほほえました。

岡島君の会社に立ち寄つた。我が社の営業所長の話だと

東京でいえば九ビル街に相

当するビジネス街だといふ。岡島君の会社には国際事業部もあり、昨日のバイオット君がタイプを叩いていたのは、ほほえました。

見てハイヤーが一台かけつけて来るといつたのんびりした田舎町である。ここには世界で何番目という大きな滝があり、案内されて見物する。壯觀の一語に尽きる。川魚料理をご馳走になつかり飛び続けた。全航程三千キロの長途の旅はすこり疲れ切り、クタクタになつてヒルトンホテルにたどりついた。

間ばかり飛び続けた。全航

程三千キロの長途の旅はすこり疲れ切り、クタクタになつてヒルトンホテルにたどりついた。

物する。壯觀の一語に尽きる。川魚料理をご馳走になつかり飛び続けた。全航

程三千キロの長途の旅はすこり疲れ切り、クタクタになつてヒルトンホテルにたどりついた。

昭和48年度飯田高校同窓会決算書

収入額 4,346,566円
 支出額 3,925,735円
 差引残額 420,831円

収入の部

費 目	収入額
入会金	360,000
維持会費	3,732.140
繰越金	226,592
雜 収 入 (預金利子)	27,834
合 計	4,346,566

昭和 49 年 4 月 25 日
会計監査 外松 淳・市瀬泰

昭和49年度飯田高校同窓会予算書

収入予算額 3,068,831 円
支出予算額 3,068,831 円
差 引 0 円

収入の部

費目	収入額
入会金	383,000
維持会費	2,250,000
繰越金	420,831
雑収入	15,000
合計	3,068,831

温田市助氏は、大正十五年飯田中学を卒業した（中二五回）。氏は下伊那郡泰生として卒業までの四年間を過ごした。東京高師（現東京教育大）を卒業後、昭和二十二年から二十六年まで、母校の飯田中学（後飯田高松高校）で体育教師として教鞭をとり、阿南高校創設（昭和二六年）にも尽

太平洋戦争では満州からニューギニヤへ転戦し、奄美の生還をした全鶴勲章の戦士でもあつた。

温田市助追悼文集発行さる

てきました。事務局の窓より秋の雲が走つて行きます。名簿発刊を中心再度まとめてみました。無償配布、事務局の台所は苦しい実情です。ご協力下さい。

広告欄も新聞とは異つて会員に語りかける楽しいものにしたいと考へています。各支部の活動が活発になって来ています。更に各支部の誕生を一同首を長くしてまっています。

会員の御投稿も増加しました。ご感想やご意見お送り下さい。

五十年より会も発展期に入ります。

皆様の御健勝お祈りします。

一、昭和五十年七月発行予定の同窓会々員名簿
の原票となるものです。

二、楷書で正確にお願いします。

三、最終出身校欄・学部名も。

四、出身町村：学校通学当時の住所或は本籍地
を旧町村名で

△例△豊丘ではなく神稻とか河野のよう

一、職業勤務先欄
○名称・称号…会社名・商店名または自
營・職業名・官公庁名

○役職・営業種目

一、備考欄：元官職名或は名簿に関する要望等
○十月末日までに折り返しあ送りください。
その後の異動については、お手数ながら御
連絡をお願いします。

年 度	中 学 校 名	明 大 学 校 名	年 月 卒 業 日 期	了 了 了 了 了 了	中 退 了 了 了 了 了 了
	上りがな 旧姓()		出身市町村 県籍出身校 学 部 名		
氏 名					
住 所	郵便番号				市外局番(局番)番号
					電話()
職 業 ・ 勤 務 先	名 称				電話()
	郵便番号	所在地			
備 考	役 職 就業種目等				

寄贈品紹介

- ・帖幅「以学愈愚」
中19回 宮島好堅 殿
- ・書籍「温田市助追悼文集」
刊行会 殿
- ・書籍「五番崩れ」
中46回 永見津平 殿
(勝茂)



卷之二

編
集後記

W
1

注文は
392

ルを通じ若者たちとの対話を続け、教え子や知人の心を深くとらえて離さなかつたという。